

第393回 市議会定例会

12月2日

した各施策の着実な実施に努めます。

中学校給食センターについては、10月21日に起工式を行い、来年6月末が竣工予定です。供用開始は、各中学校の試行操業等を経て、来年秋となる見込みです。運営については、昨年『南国市学校給食センター整備事業運営委員会』を設置し検討を行いました。運営委員会からは『運営方式に関する報告書』が教育委員会に提出され、長期にわたる人件費等のコスト面などから、『民間委託の方向での選択が望ましい。』との答申がありました。これを受けて、『安全安心』、『災害時への対応』、『食育や地産地消の推進』等の確保に努めながら、『調理と配送』部門について民間に委託する方式を取り入れることを決定しました。』と述べた後、主要な課題について報告しました。
(内容はあらましです)

橋詰壽人市長は、12月2日開会の第393回市議会定例会で各議案の提案説明に先立ち、「米大統領選挙では、共和党候補のドナルド・トランプ氏が勝利し、来年1月20日に第45代大統領に就任することが決定しました。環太平洋連携協定(TPP)については、承認案と関連法案が衆議院本会議で可決され、参議院へと送られました。米大統領選挙で、TPPからの脱退を主張するトランプ氏の勝利により、発効が困難視されていますが、政府はあくまで発効を目指す構えです。今後の政府の対応に注目していきたいと考えています。

平成27年国勢調査の確定結果が発表されました。本市の人口は47,982人、世帯数は19,481世帯で、前回と比べると、人口では1,490人の減少、世帯数は104世帯の増加となっています。この人口減少や高齢化等への対策として、地方自治体は地方版総合戦略を策定し、各施策を実行しています。本市も、総合戦略に掲げま

いのちを守る植樹祭

大湊保育所・大湊小学校で防災林を植樹

10月22日、大湊小学校及び大湊保育所で、公益財団法人鎮守の森のプロジェクトと共催し、「南国市のちを守る植樹祭」を実施しました。子どもたちの命を守る防災林をつくるために、子どもたちの手によって木を植えることは、防災の芽を自分の心の中にも植えることになる、と植樹指導の説明がありました。小学生58名、園児19名と保護者、大湊地区防災連合会や地域の方々、校庭、園庭にタブノキ、ヤブツバキ、トベラ等高木層から低木層28種類、320本の常緑広葉樹の植樹を行いました。

地域づくり事業

域の防災力の向上につながるものと考えています。

集落支援員を2地区に配置

地域コミュニティの再構築に取り組むため、モデル地区として、7月から長岡西部地区、11月から国府地区の2地区に集落支援員を配置しました。地区公民館を拠点として、地域活動団体への活動状況のヒアリング調査や、住民へのアンケート調査を実施しています。この結果を地域にフィードバックすることにより、今後の取組について、地域の方々とともに検討を進めます。

健康イベント同時開催

健康バスポートを57名に発行健康への意識づくりを高めることを目的として「健康なんこく・きらりフエア2016」を10月15日に市立スポーツセンターで開催しました。このイベントは、毎年12月に開催していましたが、本年度はより多くの方々に参加していただくこと、「NPO法人まほろばクラブ南国設立5周年感謝祭」及び「さわやか

予防接種

10月からB型肝炎ワクチン開始

10月1日から予防接種法に基づく定期接種としてB型肝炎ワクチンが開始となり、対象者の保護者に対し、個別に接種勧奨の文書を送付しました。平成28年度は、年度途中からの開始となるため、法定期間内に接種が完了するよう周知に努めます。

自己負担額の引き上げ

高齢者への季節性インフルエンザ予防接種については、本年度よりワクチンの価格が500円以上上昇したため、本年度から従来の自己負担額を100円引き上げ、接種時に千100円を負担いただくこととなりました。

母子健康情報サービス

電子母子手帳を開始

妊娠期から未就学児を持つ保護者を対象に、無料で利用できる母子健康情報サービス(電子母子手帳)を開始しました。これは、保護者が子どもの健診の情報や予防接種の記録をパソコンやスマートフォンで閲覧でき、子どもの成長記録を文章やお気に入りの写真で日記のように残していくこともできます。また、市からの情報を受信することも可能で、子育てや子どもの健康管理の一助となるよう運営していきます。

災害廃棄物処理

事業者と協定締結

10月5日、市内の一般廃棄物収集運搬事業者と「災害時における災害廃棄物処理等の協力に関する協定」を締結しました。南海トラフ地震により発生する災害廃棄物の量は、本市の家庭ごみの60年分に相当すると予想され、市単独での処理は困難です。協定は、廃棄物処理事業者と連携して、災害廃棄物の撤去、処分、避難所で発生した廃棄物の収集運搬等について定めています。

保幼小連携プログラム

赤ちゃん幼稚園で座談会

保幼小連携については、南国市保幼小連携プログラムに基づき、保育所幼稚園と小学校の円滑な接続に取り組んでいます。10月20日、県の事業である「対話と実行座談会」が、赤ちゃん幼稚園で開催され、5歳児保育の参観、グループ討議の後、尾崎知事と北陵中ブロックの保育所・幼稚園・小学校・中学校の職員が、本市の保幼小連携の取組や課題について意見交換を行いました。

観光イベント

3市連携で「物部川フェスタ」を開催

昨年度に引き続き、本市、香南市、香南市及び3市の商工会、観光協会が中心となり、物部川流域の観光資源とその魅力をPRするとともに、ステージイベントを楽しんでいただくことを目的として、9月25日に香南市天然色劇場において「物部川フェスタ」を開催しました。物部川流域の「食」や体験メニューを実施し、約4千人の来場者で賑わいました。

住宅耐震化促進事業

建築士による戸別訪問を開始

住宅耐震化促進事業については、11月1日現在、耐震診断の申込件数は146棟、その内、耐震診断を実施した住宅が81棟、耐震工事に至った住宅は48棟です。また、9月から、市街化区域の北部区域及び篠原地区において、建築士による戸別訪問を開始し、住宅耐震改修の必要性や支援制度等を説明し、さらなる耐震改修の実施率の増加を図っています。

立地適正化計画

都市機能誘導区域について検討を実施

立地適正化計画の策定に向けて、10月14日に第2回目の南国市都市再生協議会が開催され、将来都市像の検討及び都市機能誘導区域に係る検討を行いました。また、11月30日に第3回目の協議会が開催され、都市機能誘導区域に係る立地適正化計画素案を協議のうえ確認し、来年1月にパブリックコメント及び住民説明会の実施を計画しています。

臨時福祉給付金

平成29年4月以降も支給

国の第二次補正予算で、平成29年4月から平成31年9月までの経済対策として臨時福祉給付金が支給されることとなりました。今後、円滑な支給ができるよう準備を進めます。

上下水道局新庁舎

10月11日から営業開始

上下水道局庁舎については、10月9日に落成式を行い、10月11日から新庁舎において営業を開始しました。

第二次地域福祉計画

計画素案を作成中

平成29年度から5か年の計画期間である「第二次南国市地域福祉計画」については、11月に骨子をまとめ、現在素案を作成しています。来年1月に、この素案を公表し、意見募集をする予定です。

中学生クラブ活動

香長中学校女子駅伝チーム全国大会出場へ

第67回高新中学校駅伝競走大会では、女子は、香長中学校が大会新記録で4年連続11度目の優勝を、男子は、香長中学校が準優勝と、男女とも素晴らしい成績を納めました。全国大会に出場する香長中学校女子チームの健闘を、大いに期待します。